

FA05 取り付けマニュアル(タッチスイッチタイプ) ver2.0

準備



1. ドアクローザー(ドアチェッカー)は外します。
2. ラッチは同梱付のラッチ無効化くさびで、固定します。
3. 輸送事故防止のため、ドアアームをテープにて固定しております。本体施工後にはがしてください。

電源プラグは施工完了後にコンセントへ挿入をしてください。感電の恐れがございます。

施工

①本体をドア枠に施工する



1-設置位置の決定



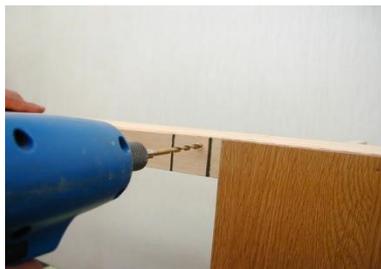
扉を直角に開き、扉の扉の厚みから、30 mmてまえにFA05 本体ベースの端(モーターが有る側)がくるところにけがきをします。(赤矢印)



1-2 ビス留め



アームをのばして、ドア枠に干渉しないことを確認したら、扉を閉じ、①のマーク位置に本体ベース端を合わせ、穴位置を決めます。



ϕ 3, 5 mmの下穴をあけたのち、ドア枠か壁に本体をビス3点にて固定します。ビスは建材に応じて必要なものをお使いください。ビスは確実に三箇所以上、とめてください。落下等、重大

な事故につながります。

中央部分の穴はコードの噛み込みにご注意ください。

②アームをドアに固定する



1.扉を閉じた状態で、アームをのばし、ドア戸先に金具をあわせ、仮位置をきめます。

2、扉を開きたり閉じたりします。

アームを手で固定し、仮位置から動かないこと、扉の開閉にあわせて最期まで伸び縮みするかを何度も確認してください。

アームがのびきって動かない。閉まらない。上枠にあたる、ゆらゆらと動く(水平でない)などは、故障や不具合の原因となります。

問題なければ、付属のビス2点ないし4点でドアに固定してください。

③電源を入れ、マグネットで閉まり具合を調整する

本体の電源プラグをコンセントにさし、本体下部の電源スイッチを入れます。

最初にドアが半分開き、また閉じます。付属のタッチスイッチを押し、ドアが75～85度程度開き、再び閉じれば設定完了です。(トイレ仕様の場合は再度押すまで開いたままとなります)



出荷時にはおおよその設定となっているため、ドアが完全にしまりません。

扉に吸着用のマグネットをつけ、磁石の力でドアをひっぱり、閉じます。このとき、扉につけた金具とマグネットは完全に吸着させず、5～10 mm程度はなしてください。完全につけてしまうと、磁石が強すぎるため、今

度は開きづらくなります。

問題なければ**設定完了となります。**

FA05 は出荷時にある程度調整されております。ドアがあたる、磁石をつかっても最期まで閉まらない、ほんの少ししか開かない時は以下の調整をします。

設定編

① ドアの閉位置を再設定する(基本的には不要です)



1.電源 OFF、ドアを閉めた状態で、センサーリング固定ネジをゆるめます。

2.センサー板をセンサーに当たる位置(それ以上動かない位置)までうごかし、再度ネジを固定して電源をいれます。

開位置が、ドア枠でおおよそでとまります。細かい設定は、マグネットか、②の微調整ネジでおこないます。

② ドアが手前でとまってしまう、ドア枠に強くあたり、もう一度開いてしまうときの調整



1.センサー固定ネジをゆるめます。

2.微調整ネジをまわして、センサーを動かします。

時計方向: ドアをより閉じる(隙間をすくなくする)

反時計方向: ドアをより開く方向に(ドア枠とドアをはなす)

最適な 開位置 (強く当たらずに 閉まって停止する位置) に調整できるまで、電源を入れる→ドアが閉まる→微調整ネジをまわすを繰り返して調整します。

調整が終わったら センサー固定ネジでセンサーリングを固定して下さい。固定できないと、調整が記憶されません。

③ ドア開位置(角度)の再設定

出荷時に 75～85 度の角度で設定されております。より狭くしたい場合のみ行ってください。90 度以上の設定は故障の原因となりますのでおこなわないでください。(設定上は可能)



1.写真にある DGSW1(スイッチ)の 2 番を ON(読み込みモード)にし、電源投入。

2.ゆっくりとドアが開くので、任意の位置で設定スイッチ (SW1)をおしてください。停止し、引き返します。

DGSW1 の 2 番を OFF とすることで記憶します。

電源を切っても設定は記憶されます。

挟み込み法事の安全装置の感度について

FA05 には人や物に衝突、はさみこみ防止の安全装置が標準で搭載されています。

1. 開く、閉じるときにドアに人、モノが接触すると、その場で停止するか、一度大きく開きます。2 秒経過後、再度動き出します。
2. 上記の接触動作が連続 5 回くり返された場合は「ドアに異常がある」として、エラー音とともに、停止。電源を入り切りすると、復帰します。

安全装置の感度調整(参考)



感度調整ボリューム VR3 によって調整します。時計方向に回すと感度はあがり、反時計で鈍くになります。

【重要】

基本的には出荷時の設定で変更不可です。感度が敏感すぎると、自動ドアがわずかな振動でも止めます。鈍感すぎると、人が挟まれても停止せず、重大な怪我や、製品故障の原因となります。

株式会社ファースト・レイズ
0277-51-4973
群馬県桐生市川内町 3-119-3